

# マイコン

## ESP32-32D DEVKIT 電源ON後にrst:0x3 (SWRESET) でループする

### 【現象】

DOIT社のESP32-32D DEVKITにて、Arduino IDEにてスケッチを書きESP32-32Dへ書き込み。書き込み完了後は、自動的に再起動するが、シリアルコンソールで以下メッセージがループして立ち上がらない。もしくは、X回ループして立ち上がる現象に遭遇した。(xは数字で不安定)

```
14:30:20.751 -> ets Jul 29 2019 12:21:46
14:30:20.751 ->
14:30:20.751 -> rst:0x3 (SWRESET),boot:0x13 (SPIFASTFLASHBOOT)
14:30:20.787 -> configspi: 0, SPIWP:0xee
14:30:20.787 -> clk_drv:0x00,qdrv:0x00,ddrv:0x00,cs0drv:0x00,hddrv:0x00,wpdrv:0x00
14:30:20.787 -> mode:DIO, clock div:2
14:30:20.787 -> load:0x3fff0030,len:4660
14:30:20.787 -> load:0x40078000,len:15568
14:30:20.787 -> ho 0 tail 12 room 4
14:30:20.787 -> load:0x40080400,len:4
14:30:20.787 -> load:0x40080404,len:3152
14:30:20.787 -> entry 0x400805a0
```

### 【環境】

- ・ ESP32-32D (USB-C) <---> Windows11 (マザーボードUSB2.0端子)
- ・ Arduino IDE 2.3.6

### 【対応策】

私も困ってgoogle検索しサイトを数ページ巡回してみましたが、DOIT社のESP32ではクセがあるSoCであるようです。

対応策は、

1. FlashROMの初期化を行う
2. Arduino IDEの「Flash Frequency」を40MHzにする
3. EN Pin と GNDPIN 間に0.1  $\mu$ Fのコンデンサを接続する

### 【私の準備した個体では】

再起動直前まで正常に見えたので、3かな？と思いつつ順に試してみる事に

1は、Arduino IDE 2.3.6では、「Erase All Flash Before Sketch Upload」をenableに変更。

書き込み->書き込み完了->自動再起動 やはりループしている

USBケーブルを抜いて電源OFF。再度USB接続しても、ループする。

ENボタン(RESET)を押しても、ループする。

2は、Arduino IDE起動時80MHzに設定(初期状態)されていたので、40MHzに変更。

書き込み->書き込み完了->自動再起動 やはりループしている

USBケーブルを抜いて電源OFF。再度USB接続しても、ループする。

ENボタン(RESET)を押しても、ループする。

3の時は、電源OFF状態で0.1  $\mu$ Fのコンデンサ接続後に電源ON。

正常に立ち上がる。USBケーブル抜いて、入れてを3回ほど試したが、3回ともOKとなる。

ENボタン(RESET)を押しても、ちゃんと立ち上がる。

といっても、解せない点もある。

今回、同製品を2個準備していて、1個目でループしまくったので色々調べてみたが、

念のためと2個目の個体は、ループしても1~4回程度のループで立ち上がる。ループしない場合もあった。そちらも、0.1  $\mu$ Fのコンデンサ接続後は正常。

# マイコン

## 【色々試してみたこと】

上記の状況で電源周りが怪しいと薄々気づきました。

DSP32-32Dは、ボード上にLEDが搭載されているので、試しにサンプルスケッチのLチカを書き込んでみると、コンデンサ無しでも正常に起動した。

まあ、無線系使うと消費電力上がるよね！という事になり、ESP32-32Dのデータシートをgoogle検索したが、すぐには探し出せず。

Espressif Systems社(本家)のESP-WROOM-32Dのデータシートを見たところ、最低電流(Min) 0.5A

となっているのを発見。互換品が下回ることは無いと思うので、最低でも0.5A以上は必要だろう。

<https://www.espressif.com/sites/default/files/documentation/esp32-wroom-32desp32-wroom-32udatasheeten.pdf>

## 5.2 Recommended Operating Conditions

Table 8: Recommended Operating Conditions

Symbol	Parameter	Min	Typical	Max	Unit
VDD33	Power supply voltage	3.0	3.3	3.6	V
I <sub>VDD</sub>	Current delivered by external power supply	0.5	-	-	A
T	Operating ambient temperature	-40	-	85	°C

おそらくWifi + BT 両方使うようにスケッチしていたら、USB2.0での電流供給能力0.5Aを楽に超える事が推測できる。

他にも試してみた事は、DSP32-32D上のUSBポートは使わずに

- 5V(1A)のACアダプタでVIN pinへ電源供給。TX0, RX0,GNDを外付けのUSBシリアル変換モジュールで接続して起動した結果、正常起動
- 3.3V(2A)のACアダプタで3V3 pin へ電源供給。TX0, RX0,GNDを外付けのUSBシリアル変換モジュールで接続して起動した結果、正常起動

ダメ出して、あまり使う機会がなかったビット・トレード・ワン社の「USB CABLE CHECKER2」を引っ張り出してきて、使っていたUSBケーブル(1M)を測定してみると、[High m ] (1100m 以上)という、"そもそも、このケーブル使えねえ~"という状態でした。

## 【同現象の方へ】

まずはUSBケーブルを疑ってください。USBケーブルを複数お持ちであれば、

- なるべく短いケーブルで試してみる。
- 異なるメーカーのケーブルで試してみる
- ハイパワー対応のUSBケーブル(2Aとか3Aとか流せる)を使う

最近では、100均でも2Aや2.4A流せるケーブルが売っています。100円ではなく200円製品だったりしますが、

USBケーブル自体が太いからといって安心できません。ケーブル捨てる勢いで、ニッパーで切断してみたら、中身のプラス(+)の線とマイナス(-)の線径が思ったより細かったという事はよくある話！？

添付ファイル::

# マイコン

一意的なソリューション ID: #1066

製作者: n/a

最終更新: 2025-06-09 13:30